

Photo ふなばし

特集

豊かで住みよいまちを目指して

福祉と緑の都市を宣言



- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- WE ARE IN FUNABASHI
- アトリエ訪問 ● サークル通信

まちなかの文化財／ふなばしの民話
ペットインタビュー

vol. 51

広報ふなばし写真版

福祉と緑の都市を宣言

豊かで住みよいまちを目指して



福祉と緑の都市宣言

船橋市は、今や人口五十四万を擁する首都圏屈指の中核都市へと成長し、二十一世紀に向けさらに大きく飛躍しようとしております。

私たち船橋市民は、緑豊かな環境の中で、お年寄りや障害をもつ方々を大切に
する優しい心をはくくみ、次代を担う子
供たちが、すくすくと成長できる生きが
いと温もりに満ちたまちづくりを目指し、
ここに「福祉と緑の都市」を宣言いたし
ます。

平成四年九月十四日

船橋市

やさしさと緑あふれるまちを目指します



「福祉と緑の都市宣言」を行う大橋和夫市長



第二部では北総育成園演劇クラブの皆さんが「夕鶴」を熱演



あいさつする和田善行市議会議長



記念式典に参加された皆さんにはハナミズキがプレゼントされた

福祉の歌「We are not alone」を合唱する市民の皆さん



福祉の歌「We are not alone」を作詩・作曲した伊藤薫さん。伊藤さんは市内に在住のシンガー・制50周年記念愛唱歌「海に見える街で……」もつくっていただいた



福祉の歌を歌う安藤まり子さん。「まりもの唄」や「カチューシャの歌」で親しまれている（市内在住）



福祉で貢献のあった68の団体、個人に感謝状が贈られた



緑化に貢献のあった40の団体、個人に感謝状が贈られた



約1,100人で埋め尽くされた市民文化ホール



列席された来賓の皆さん



式典ではボランティアによる手話通訳が行われた

金による緑地の買い取りなど緑の保全・育成に関する様々な施策を行ってまいりました。「豊かで住みよい国際都市づくり」を目指して昨年スタートした船橋市の新しい基本計画「ふなばし未来2001」でも、福祉と緑については重要な位置付けがされており、今回の宣言もこの計画に基づいて行われています。今後は、この宣言の理念に沿って、これまでの事業の成果を踏まえながら、緑豊かな環境の中で、お年寄りや障害を持つ皆さんを大切に、子供たちが健やかにのびのびと成長できるまちづくりに関心を持って取り組むとともに、福祉と緑に関する八つの記念事業を行ってまいります。

そして、「福祉の歌」が、市民愛唱歌「海に見える街で……」の作者である市内在住の音楽家・伊藤薫さんと歌手・安藤まり子さんにより披露されました。最後に、北総育成園演劇クラブの皆さんによる「夕鶴」が上演され、感動の拍手の中で式典は終了しました。昭和30年代後半からの人口急増により現在では人口約54万と、首都圏でも屈指の中核都市と成長した船橋市は、21世紀に向け更なる発展をしようとしています。そのためには、市民の皆さんのだれもが住んで良かったと感じ、故郷としていつまでも愛してもらえよう豊かなまちづくりが大切になってきます。

9月14日、船橋市は「福祉と緑の都市」を宣言しました。記念式典は、大勢の市民の皆さんや国会・県会議員などが出席して、市民文化ホールで催され、大橋和夫市長が宣言文を読み上げると会場から大きな温かい拍手が贈られました。次に、福祉や緑化事業に多大な貢献のあった108の団体・個人に感謝状が贈られました。

福祉

WELFARE



老人大学陶芸学科

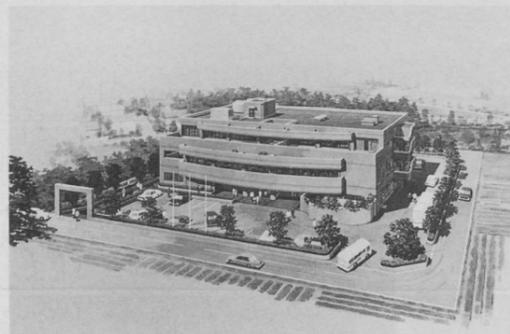
開校10周年を迎えた老人大学 11月27日に記念式典開催

生涯学習の場を求めるお年寄りの声に応えるため、昭和58年4月、市の老人大学としては県内で初めて開校した船橋市老人大学は、今年で10周年を迎えます。これを記念して11月27日、勤労市民センターで記念式典を開催します。当日は、老人大学の設置や運営などにご協力をいただいた皆さんへの表彰並びに感謝状の贈呈。「経済人から見た船橋市の発展と将来」をテーマに丹澤章浩氏（船橋商工会議所会頭）の講演などが行われます。

〔日 時〕 11月27日(金)
午後1時～午後4時30分
〔会 場〕 船橋市勤労市民センター・ホール
〔問い合わせ〕 老人福祉課 ☎(36)2349



昭和58年、市立として県内で初めて誕生した船橋市老人大学。一般教養、陶芸、スポーツ健康の3学科があり、今年も259人の皆さんが楽しく勉強を続けている。写真は、日本初の屋根付ゲートボール場でゲームを学ぶスポーツ健康学科の皆さん



9月8日に着工した北部老人福祉センター等複合施設(三咲7)。老人福祉センター、デイ・サービスセンター、保健センター、特殊歯科診療所など様々な機能を併せ持っている。開館は平成6年4月の予定



市の給食サービス事業を支える配食ボランティアの皆さんは、毎週水曜日、ひとり暮らしのお年寄りに給食と笑顔を届けている



船橋駅北口のバスターミナル。身障者の皆さんにも利用しやすいエレベーターが設置されている



ボランティアに関してのお問い合わせは、船橋市ボランティアセンターまでどうぞ(☎31-8808)



老人介助ボランティア



障害者に生け花を指導するボランティア



寝たきりの方を対象に無料で行われている訪問入浴サービス



お年寄りにとって普段の健康状態をよく知るホームドクターを持つことはとても大切なことです。(診察中の高木恒雄船橋市医師会会長)



車いす専用のテーブルも用意されている(二和公民館)

〔福祉に関する記念事業〕
○船橋市福祉基金の創設
高齢化社会を迎えて、今後ますます市民の皆さんによるボランティア活動の果たす役割が大きくなると考えられるため、(仮称)「船橋市福祉基金」を創設し、基金の運用益で各種民間団体の行う事業を助成し、活動の充実に努めます。
○障害福祉関係者による「まちづくり委員会」の設置
障害者の皆さんの目で見たまちづくりを進めるため、障害福祉関係者による「まちづくり委員会」を設置し、障害を持つ皆さんが安心して生活できる都市環境の充実に努めます。
○財団法人船橋市福祉サービス公社の設立
援護を必要としているお年寄りや障害をお持ちの皆さんのために、在宅福祉を含めた多様な福祉サービスを提供するなど、市民の幅広い福祉のニーズに応えるため(仮称)「財団法人船橋市福祉サービス公社」を設立します。
○市単独で老人医療費の助成対象年齢を68歳に引き下げ
市単独事業で、老人医療費の助成対象年齢を70歳から68歳に引き下げます。



昨年10月スタートした在宅医療・介護支援センターの大きな特色となっている在宅医療事業は船橋市医師会の協力により行われている

緑

GREENERY



ドライバーや歩行者にうおいとやすらぎを与えてくれる緑の並木（北習志野駅前通り）



昨年8月に118ポイントとなったワンパク王国のフィールドアスレチック



民有地の山林を借り上げ小道やベンチを整備した市民の森。市内に6カ所ある



毎年春と秋、天沼弁天池公園で開催されている「緑と花のジャンボ市」



新京成前原駅から二和向台駅まで整備された大型フラワーライン



おまつり広場で開催された「グリーン・ミニ・バザール」



透水タイルを実験するハイワード市 スイニー市長と大橋和夫市長



優秀生け垣20選に選ばれた生け垣（浅井正康氏宅）



来年には親水公園も整備される長津川調整池

脇道だったか、直接拝殿に横づけするよう
な感じで境内の空地に入った。濛々と土ほこ
りが上がり車体を包む。うーん、今年の夏は
全く雨が無かったからな。収まるのを待つて
車を出、拝殿に向かう。
合掌。寺社詣りのエチケット。それから
拝殿の中をそと覗う。畳の上はきれいで、
一段高く整殿の板廊下に続いている。その先
は少し神秘的。
そのご神体は、拝殿前に石のキツネが一
対。長まつ、桜並木の長い参道を見守って
いる風。遠く明神鳥居も、その先の異道の激し
い車の往来も、鳥居のたもとのとくさんの放
置自転車さえも、すべてよくキツネには見通
せる筈だ。
さてそこで、ご神体は——「三咲百年記念
碑」を読む。当地域は明治二十一年十一月入
植、「三咲」と命名、その創業に当り「稲荷
神社」を勧請した旨、刻んで記す。するとや
はりお稲荷さんがご神体である。
稲荷は「福生る・福成る」が語源とか、何か
の本で読んだ記憶があるが、昔から五穀豊穡
の神様だ。当時この地の人々の、開墾に賭け
た悲願が伝わってくるようだ。
お稲荷さんのお姿は見えないけれど、薄暗
い堂内で今日の蟬しぐれをじっと聴いてらっ
しやるだろう。
(文・大木 勲)

新ちかのかの文化財

三咲神社
(三咲9丁目)



三咲神社拝殿

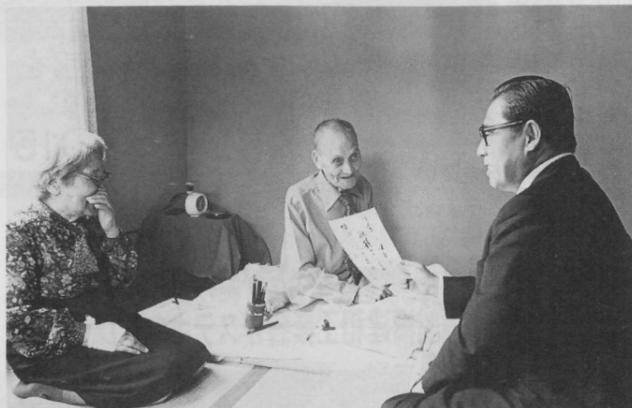
〔緑に関する記念事業〕
○「アンデルセン公園」の建設
次代を担う子供たちの夢を育てるた
め、現在のワンパク王国に隣接して子
ども美術館とアンデルセン童話の精神
を生かしたメルヘンの丘を建設し、障
害をお持ちの皆さんも楽しめる大型公
園を建設します。
○市民参加による「グリーン作戦」の
展開
街路樹、生け垣づくり、植林など、
市民参加による様々な「グリーン作戦」
を展開し、地域から市全域に広がるき
め細やかな緑化運動を進めます。
○緑地取得事業の拡大
都市化する中で、貴重な緑地を守る
ため、夏見の斜面緑地の都市計画決定
や(財)船橋市緑の基金による民有緑
地の買い取りなどを行ってきましたが、
緑地購入予算を大幅に増額し、重要
性の高いものから計画的に取得してい
きます。
○焼却灰から透水タイルを作る実験工
場を建設
環境にやさしいまちづくりのため、
清掃工場から出る焼却灰を利用した透
水タイルを作る実験工場を建設し、公
園の歩道などへの本格的な再生利用を
行います。将来的には、市内のゴミは
すべて市内で処理されることになりま
す。



平成2年に購入した田喜野井緑地

県道から拝殿まで
桜並木が続く参道

いつまでもお元気で 市内各地で敬老行事開催



男性市内最高齢荒井直治さん宅を訪問。長寿を祝う大橋和夫市長

9月15日の「敬老の日」に合わせて市内の各町会・自治会などで様々な敬老行事が行われました。各会場では、65歳以上の皆さんに市からの敬老記念品が贈られたほか、踊りやカラオケ、子供たちのパレエや歌などそれぞれ趣向をこらした温かい催しで皆さんの長寿を祝いました。また、大橋和夫市長は、男性の市内最高齢（100歳）の荒井直治さん宅を訪れ、記念品を贈り長寿を祝いました。



あいきょうを振りまく
ばか面おどりの子供たち
にお年寄りも大喜び



特別養護老人ホーム「三山園」で
敬老の記念品と写真が贈られた

世界へはばたく船橋っ子!!

青少年の翼

高校生がハイワード市へ



西安市・少年宮で習字を習う青少年の翼の一行

今回の青少年の翼は、姉妹都市ハイワード市へ11人、友好都市西安市へ6人が派遣されました。ハイワード市ではホームステイ、西安市では高校で書道の指導を受けるなど様々な交流を通して友好を深めました。

スポーツ交流

少年野球チームが 西安市へ

少年スポーツ交流として初めて西安市を訪れたのは船橋市野球協会少年学童部所属の小学生19人。一行は西安市の少年野球チームと親善試合を行い、野球を通して熱い交流を行いました。



親善試合を前に元気一杯の船橋チーム



お友達の作品を熱心に見る皆さん

第19回船橋市児童・生徒科学論文・工夫作品展が9月19日から21日まで総合教育センターで開催されました。会場には、小・中学生が夏休みにまとめた論文759点や日常生活を通して考えたアイデア作品128点が展示され、訪れた皆さんは、熱心に一点一点力作を見ていました。なお、優秀な作品には金、銀、銅、佳作の各賞が贈られました。

総合教育センター

船橋市児童・生徒科学 論文・工夫作品展開催

備えあれば憂いなし!!

市内3会場で防災総合訓練



消火器による初期消火訓練

9月1日、防災総合訓練が日本大学理工学部習志野校舎など3会場で行われました。今回の訓練は、船橋市に大地震が発生した場合を想定して行われたものです。各会場では、町会・自治会の皆さんによる避難訓練、煙中避難訓練、消火器、三角バケツによる初期消火訓練、各企業の自衛消防隊や自主防災組織の皆さんによる消火訓練、そして、県水道局、NTTなど公益企業による災害復興訓練、また、消防局の様々な消防車両による本番さながらの消火訓練が行われ、見学の皆さんも真剣に訓練に見入っていました。



煙の恐ろしさを実際に
体験する煙中避難訓練



はしご車、ポンプ車
などによる一斉放水



給食給水活動訓練



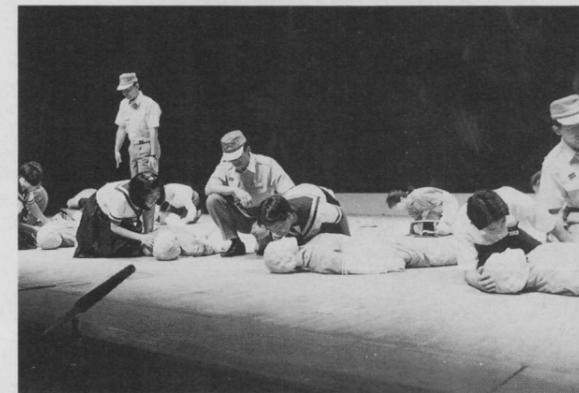
三角巾の使い方を学ぶ
若松中学校の皆さん

10月1日から 二和出張所オープン



一層便利に生まれ変わった二和出張所

10月1日、二和出張所がオープンします。二和出張所は、二和連絡所を出張所として機能しやすいように施設を整備したものです。これまでの業務に加え、他の出張所と同様に年金や税関係の業務も取り扱えるようになります。(☎4507)



心肺蘇生法を体験学習する参加者の皆さん

心肺蘇生法の重要性をもっと市民の皆さんに知ってもらおうと、9月19日、市民文化ホールで「市民とともに考える救急医療シンポジウム'92」が開催され、約1,100人の参加者でにぎわいました。4回目を迎えた今年のテーマは、「あなたもできるダイヤモンドの3分間!」。心肺蘇生法の体験談を聞いたり、実際にステージ上で心肺蘇生法を体験するなど、内容の濃いシンポジウムとなりました。



高規格救急車も
展示されました

市民とともに考える 救急医療シンポジウム'92



津別の皆さんと一体となったステキな
コンサートになりました

船橋ジュニアオーケストラ

北海道 津別町で演奏会

船橋ジュニアオーケストラが、まちぐるみで交流を続けている北海道津別町で演奏会を開きました。訪れたのは中・高校生71人、指導者4人など総勢105人。中央公民館で行われた演奏会では、クラシックから津別音頭まで約2時間にわたり披露。満員の会場から大きな拍手が送られました。一行は、津別町の家庭にホームステイ、ジャガイモ掘りを体験するなど交流を深めました。



思い出に残った農業体験



夏が好きなので、夏の
代表的な花、ヒマワリ
が好きです。
河相利行さん(藤原6)

ポトスなんかがかわいらしいし、夏はアサガオがいいですね。
吉田美智子さん(駿河台1)
知美ちゃん(3歳)



学校で育てているアサガオが大ーい好き!!
瀧 純一さん・向田祐介さん
野口義信さん
(高根台第二小1年)

海老川沿いの春の桜や
ツツジがとてもきれいで
いいと思います。
竹川照夫さん(宮本1)



水をあげる度に花を咲か
せてかわいらしいシン
クラメンが好きです。
荒井義明さん(行田3)
絵美ちゃん(4歳)

市民ひとことインタビュー あなたの好きな花は



肝臓を丈夫にするポーズ

気分がリフレッシュ!! 行田公園で早朝体操

行田公園の諏訪神社寄りでは、中国3千年の歴史を持ち、弱くなった気をよみがえらせる「外丹功(がいたんこう)」の早朝体操が、毎日午前6時から行われています。自然に集まり出して今年で5年目。あなたも一緒にどうぞ。(無料)

好プレーが続出!! 市民婦人ソフトボール大会

9月22日、運動公園自由運動広場で第15回市民婦人ソフトボール大会が行われ、愛好家のお母さん方が集まり、日ごろの練習の成果を競い合いました。おそろいのユニフォームに身を包んでの真剣勝負だけに好プレーや珍プレーも続出。皆さんの一生懸命な姿がとても印象的でした。

秋晴れの空の下で熱戦が繰り広げられました



お母さん手作りのお握りにガールスカウトの皆さん舌鼓

ガールスカウトが レクゲームに挑戦!

ガールスカウトラリー 「チャレンジ・チャレンジ」



初対面でもお友達、全体レクリエーション

9月12日(土)運動公園陸上競技場で、ガールスカウトラリー「チャレンジ・チャレンジ」が行われました。当日は、晴れ渡る青空の下、大橋良子大会名誉会長が、「今日は皆さん、思いっきり楽しんで下さい」とあいさつ。参加された1,200名のガールスカウトたちはパンブーダンスや、竹ぼっくり競走などに挑戦、会場は笑顔と歓声に満ちあふれていました。



舞台を楽しむ豊寿園の皆さん

船橋ラドン健康センターが 豊寿園のお年寄りを一日招待

8月28日、船橋ラドン健康センター(藤代守社長)が養護老人ホーム豊寿園のお年寄りを一日招待しました。これは、一日ゆっくり温泉などで楽しんでもらおうと毎年行っているもので今年で15回目。皆さんは、ラドン温泉で体をほぐしたあと、公演中の演劇を見たりと一日ゆっくりと温泉気分を楽しんでいました。



出しものは「身延の由来」



招待された皆さんは梨狩りと
もぎたての味を堪能した

街まちかど角 ホットニュース

皆さんからの情報をお待ちしています。
▷広報課 ☎36 2015

心身障害者などが梨狩りに挑戦!! 船橋建和工業会がステキなプレゼント

8月30日、心身障害者や豊寿園のお年寄りなど約500人が梨狩りを楽しみました。これは、船橋建和工業会(風間茂会長)が毎年開催しているもので今年で25回目。会場となった大野園には、たわわに実った梨がいっぱい。皆さんはもぎたての梨を食べたり、福引大会を楽しんでいました。

市内初の省エネカー大会開催! リッター1404.4キロの新記録

8月23日、第3回省エネカー競技会が、48チームが参加してサッポロビール千葉工場で行われ、高橋隆雄さん(東京都)の「再輝号」が1リッターあたり1404.4km走り優勝しました。



各車ともコーナーの手前でエンジンを
切り、惰性で音もなく通過していく



一日署長山口弘美さんの交通安全サイン会
(船橋警察署)

交通事故〇を願って 秋の交通安全運動 が行われました

この運動を広く市民の皆さんにアピールして、交通安全の意識を高めてもらおうと、船橋警察署は9月9日に船橋駅北口のおまつり広場で街頭キャンペーンを、船橋東警察署は9月23日に北習志野近隣公園を中心に広報パレードを実施しました。



交通安全を訴える一日署長松本典子さん
(船橋東警察署)

布絵作家

原 進さん (海神5丁目在住)



自宅1階の応接間にて

「ここにはきたのは戦時中の昭和19年、中学生のときだったね。周りは松林で5軒くらいしか家がなくて静かだったなあ。今でも静かだけどさ」。深川生まれで本所育ちという原さんの話し振りはとても歯切れがいい。京成海神駅から行田団地へ行く途中を少し左に入った静かな住宅街に先生のお宅がある。

アトリエ訪問



第4回上野の森美術館・日本の自然を描く会で入賞した「新緑・安曇野」

「アトリエってわけじゃないんだけども」といつも使っている部屋を見せていた。2階の南向きの8畳の部屋で、窓際に大きめの座机が置かれている。その脇にはスケッチブックや絵の材料を整理してある箱、作品などが整然と置かれている。「仕事が始まると足の踏み場も無くなるほど広げてやるからとても見せられないよ」。

ふしびの民話

古狐の安眠妨害

文・村上昭三

これは大正時代の初めころの昔の話だそうす。

狐がいるのか。これから行ってやっつけてやるべえ」と言いながら、面々は棒を持って古狐を追いかけ、散々いじめました。それから何日か過ぎました。若者たちは、古狐のことは忘れていました。そんなある晩のことです。若者たちは、昼間の疲れでぐっすり眠って、いました。すると真夜中に



この狐塚には、一匹の古狐が棲んでいて、子狐が周囲でよろよろと遊んでいる時は、いつも塚の天辺に立って見ていました。また、この古狐は、人を化かすことでも有名でした。そうこうしているうちに、近くの行田の地所に海軍の無線塔を建てることになりました。そのため、人夫として、大勢の若者たちがやってきました。ある晩、若者たちが飯場で雑談している最中に、狐塚の古狐の話が出ました。そこで、何人かの者は酒の勢いもあって「近くにそんないたずら

「ゴ、ゴ、ゴ、ゴ」と、工事現場のトロロコが走るような大きな音が聞えて来ました。若者たちは、一勢に飛び起きて外に出ました。しかし、トロロコは元の所に戻りました。これが一晩中続的に続き、その度に飛び起き、とうとう朝になってしまいました。近くの狐塚を見ると、古狐が塚の上に立ち、こちらを嘲るように見ていました。これを目にした若者たちは「夜中の事件は、あの古狐の仕返しだな。おつかねえ古狐じゃわい」とがやがやと言ひ合ひ、その後二度と古狐をいじめることを止めました。それから、この噂がばつと広まり、近在の人々も、古狐には近寄りないうように、それはそれは気がつけ



ART 日本画

感性をもっと磨きたいと思います

浅野宇香さん (藤原)

「まだハイハイしていたころから絵が好きでよく描いていたそうなんです。浅野さんは今年の船橋市市展で30回記念賞を受賞した新進の日本画家。母親の瑠美子さんは、土佐の絵師金蔵(絵金)の六代目という血筋。日本画に興味を持ったのは千葉大学教育学部在学中、講師として教えるを受けた日本画家の太田歳さんに出会ったから。自分と合っていると感じたんです。今も先生には月1回指導を受けています。現在、新美術協会に所属。5月の春季展では初の人賞を果たした。絵に取り組み時間を十分に取りたいと勤めを辞め、比較的時間が自由になる家庭教師を始めたという浅野さん。気分転換にゴルフやダンスで楽しむという活動的な一面も持っている。「もっと幅広く勉強して感性を磨きたいですね」とこやかに抱負を語ってくれた。



シンプルなデザインのものが好きですね

高橋紀子さん (大穴南)

まいふあこしよん

千葉市内の会社にお勤めの高橋さんは生粋の船橋っ子。「仕事のときはツイピースやワンピースが多いですね。今までは無地のものが多かったんですが、最近は、プリント柄も着るようになってきました。今日は、からし色をメインに薄いグレーと淡いブルーが秋らしい花柄プリントのツイピース。アクセサリーもゴールドのブチネックレスとプレスレッドに抑え、全体に明るい中にも落ち着いた雰囲気だまっています。ショッキングは主に船橋や津田沼で済ませるといって高橋さん。現在、熱中しているのはゴルフ。「早くフェアウエーを歩いてみたいですね」と目が輝いた。

小室ハーモニー 小室公民館

昭和56年に公民館の講習会がきっかけで発足したこの会。現在28名の方が毎週土曜日に集まり練習に励んでいます。今は来年5月に開かれるリサイタルに向けて、『メサイヤ』というキリストの誕生から復活までを描いた作品に取り組んでいます。この曲は50番近くあり歌い上げるには何時間もかかる曲なので時間をかけて仕上げています。先生の厳しいながらも楽しい指導で和やかな雰囲気練習が進められて行きます。「思い切り声を出して歌うのはとても気持ちいいですね。」経験の有無よりも根気良く続けられる方待っています。(連絡先: 只野ヒロ ☎57-2925)



少しずつ練習を積み重ねていくことが大切です



大きな声で歌うことはストレス解消にもなります

気合いの入った練習



サークル通信

みんなの広場

自然の中での食事は最高です



下山後の一杯も楽しみの一つです

今年の1月、山の好きな仲間が集まって発足したこの会、現在、40歳代を中心に11人の会員の皆さんが、2か月に一度千メートル級の山を専門に、ゆっくり山歩きを楽しんでいます。名称は、この会の顧問である日本勤労者山岳連盟会長の吉尾弘さんがヨーロッパアルプスのグランドジョラスでピバークした時に「星を見ながらワインを飲みたいなあ」と思ったところから頂いたそうです。「みんなで和気あいあい山歩きを楽しみ、そして、会員自身が会を愛せる。そんな会にしたいですね」と事務局の山口さん。あなたも、ゆっくり山を歩いてみませんか。(連絡先: 山口要 ☎38-4258)

日本の山々 星とワインの会

来年結成15周年を迎えるこの会。現在、会員は子供から大人まで約90人。子供は隔週土曜日、大人は毎週土曜日に汗を流しています。練習は、各自の経験や上達に合わせてクラス分けして行います。準備運動、素振り、クラス別練習へと進みます。「剣道は、年齢に関係なくだれでもできるし、ウチの会は親子や夫婦でやっている方も多いですよ」と会長の大成さん。剣道以外に遠足なども行って親睦を深めているそうです。「真剣にきれいな汗を流そう。みんな仲良くしよう。礼儀正しくしよう。」を道場訓に頑張っているこの会。親子でいい汗を流してみませんか。(連絡先: 大成護和 ☎92-2651)

芝山東小体育館 芝山剣友会



日本でただ一人 新種ハイビスカスの 特許を持つ 竹之内正雄さん (二和東)

ハイビスカスは、栽培中につぼみが落ちやすいため、挿し木を繰り返しながら、その土地に適した枝を探します。鉢花農家の竹之内さんも、船橋の土に合った品種を探して挿し木を繰り返すうちに、花の全体が均一にだいたい色で美しく、しかも丈夫なハイビスカスを発見しました。これを「バードミロン・リーダー」と名付け、農林水産省に新品種として申請したところ、昭和62年に認められ、18年間独占的に栽培することが許されました。竹之内さんは、「常に気を配っていたものの、言わば突然変異です。これは幸運でした。日本で私だけしか作れないハイビスカスですから、大事に育てたいですね。」とそのときの喜びを語ってくれました。少年時代は、野口英世やエジソンにあこがれていたという竹之内さん。今は、シクラメンの価格安定に革命的に貢献すると言われる病害防除の確立に取り組んでいるそうです。

練習のとき以外の家族的な雰囲気も自慢です

あいらふふなばし



皆さん親切でとても 住みやすいですネ マシュー・ジョンソンさん (西習志野2)

「交通の便が良く、また皆さん親切でとても住みやすいまちですネ。この船橋の印象を話すジョンソンさんは、アメリカ出身の元パイロット教師。今年の2月日本語を勉強するために来船。日本語学校に通う傍ら、英語学校の教師をしています。日本に来てまず驚いたことは、電車が時刻表通り正確なことが。趣味は、アイスホッケーにゴルフ、日課はジョギングというス

ポーツマン。「日本語は、漢字が特に難かしいですネ」とジョンソンさん。休日には、房総や伊豆方面に出かけることが多いそうです。また大の日本食党で、ざるそばとお好み焼きが好物とか。「もっと日本語に磨きをかけて、将来は、リッパな通訳になれるように、目標に向かって目下まっしぐらと

あ と が き



大変好評だったデンマークフェア写真展

市役所1階美術コーナーでデンマークフェア写真展 9/7⇒9/25

船橋とデンマーク王国オーデンセ市との姉妹都市提携3周年を記念して、この夏行われたデンマークフェアの様子をとらえた写真を一堂に集めた「デンマークフェア写真展」が市役所1階美術コーナーで開催されました。

◇船橋市は自他ともに認める「ゴミ減量化・再資源化の先進都市。昭和48年から全国に先駆けリサイクル運動に取り組み、平成2年度からは「ゴミ減量キャンペーン」を展開。広く「ゴミと環境の問題」にも積極的に取り組んできました。現在、船橋市から出る「ゴミ」の量は年間約21万7500トン。この内可燃ゴミは約18万トンで、南部清掃工場と北部清掃工場が焼却していますが、焼却灰については県外の最終処分場に依存しています。市では、自分のゴミは自分で処理するという基本的な考えからこの焼却灰の再利用について研究を重ねてきましたが、2年前に透水性の試作に成功。いよいよ本格的な製品化に向け実験工場を建設。来年度から透水性の製作を始めます。ゴミの最終処分とリサイクル、更に環境対策に役立つこの事業は、福祉と緑の都市宣言の記念事業の一つでもあります。



私の苦手なものを教えます。それは、梅干しと掃除機です

ペットインタビュー

なまえ

プチ

(ポメラニアン)

オーナー

田村尚美さん

(海神3)

市民の力作588点を一堂に会して

第30回船橋市市展開催



過去最高の588点の力作が集結

今年で30回を迎える伝統の船橋市市展が8月21日から25日まで東武百貨店船橋店で開催されました。今回は30回記念展ということもあり、洋画、日本画、書、工芸、彫塑の5部門に合わせて過去最高の588点の市民の力作が出品されました。各部門の作品のレベルも年々上がっており、会期中訪れた皆さんにとって、大変見応えのある市展となりました。なお、表彰式は、8月23日パールプラザで行われ、市長賞、美術連盟賞など各賞が入賞者に授与されました。



市展のテープカット。右から、大橋和夫市長、居関金一船橋市美術連盟会長、川田貢一郎東武百貨店船橋店店長

スポーツで健康ふなばし こんにちは…



■ 番組の最後に元気な船橋っ子の声も聴けるゾ!!

船橋のHOTな情報は
ベイ・エフエムで

『フナバシ
タウンクルーズ』

bay-fm
78MHz

◇ 毎週土・日曜日
あさ 7時55分から

問合せ 広報課 ☎ 2015

皇后さまが船橋市をご訪問 西武百貨店・船橋アートフォーラムをご見学



9月17日、皇后さまが西武百貨店・船橋アートフォーラムで開催された「中国現代絵本原画展」をご覧になりました。これは、ご自身で子供の本をお書きになるなど、児童文学に深い関心をお持ちの皇后さまが、10月の中国ご訪問を前に事前研究を兼ねて視察されたものです。(皇后さまがご訪問される西安市と船橋市の交流などを説明する大橋和夫市長)